

## ESD・SDGsの視点を取り入れた環境学習

奈良教育大学 教授 中澤静男

### 1. SDGsとESDについて

#### (1) SDGsとは何か：Sustainable Development Goals

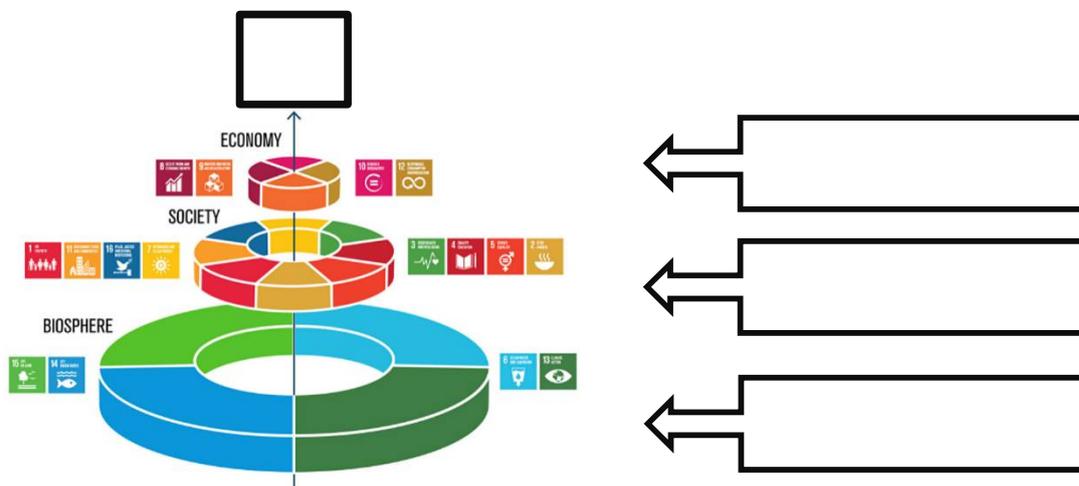
2015年9月 持続可能な開発サミットで「我々の世界を変革する／持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。※アジェンダとは行動計画です。

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

※Transformとは

このアジェンダの中心が「持続可能な開発目標（SDGs）で、2030年までの達成を目指す17の目標と169のターゲットからできています。（資料参照）

#### (2) SDGsがめざす社会：SDGsのウェディングケーキモデル



SDGs ウェディングケーキモデル図（レジリエンス研究所：ロックストローム）

#### (3) 今、なぜ、SDGsなのか

##### ①環境問題

- ・ 生きている地球指数 生物多様性の劣化
- ・ エコロジカル・フットプリント 人間活動による地球環境への負荷の増大
- ・ プラネタリーバウンダリー 地球に備わる生命維持システムの限界

##### ②国際問題（3つお書きください）

#### (4) ESDについて

ESD：Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）

学習者の価値観と行動の変革を促す教育

SDGs達成の必須要素

- ①国際協力、②技術革新、③新しいシステムの導入
- ④SDGsの重要性を理解し、能動的に参加・協力する多数の市民

← このような市民を育てるのがESDです

※持続可能な社会の創り手の育成が学習指導要領に明記。すべての学校で実施することに。



## 単元構想案

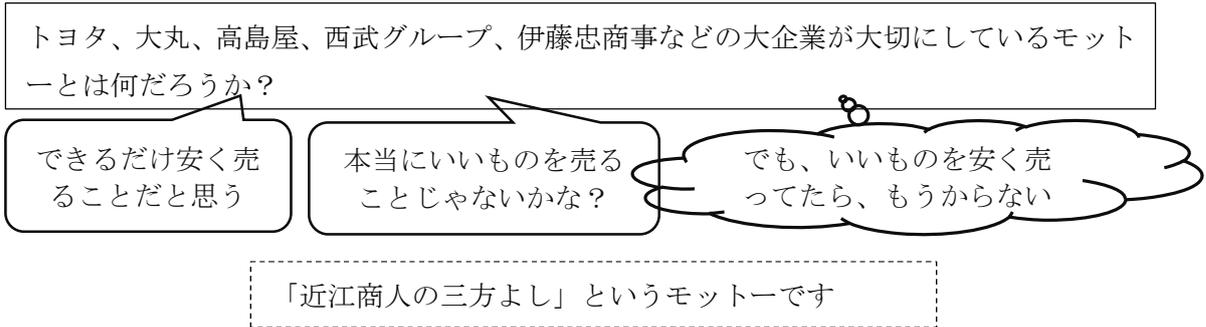
- ・単元名：グリーンコンシューマーになろう 中学2年生総合的な学習の時間

### (1) 単元の見目

- ・消費行動と環境問題の結びつきを具体的に理解することができる。(知識・技能)
- ・日常の消費行動において多面的に思考し、行動化することができる。(思・判・表)
- ・グリーンコンシューマーであることを自覚し、学びを生活に生かそうとする。  
(学態・人間性)

### (2) 単元展開の概要 (全3時間)

#### 【導入】



#### 【中心発問】(調査行動を促す、核となる発問)

現代の「近江商人の三方よし」とは何だろうか？「売り手よし、買い手よし、〇〇よし」

- 資料① 温暖化のグラフ  
資料② 〇〇市のごみの排出量のグラフ  
資料③ 海洋プラスチックごみの新聞記事

気温よし

ごみよし

素材よし

未来にとってもよいことじゃないかな。

- ・ごみ調べ、
- ・〇〇市の気温の変化調べ
- ・海岸でのマイクロプラスチック調査

専門家へのインタビューを促す  
生徒による調査報告

#### 【深める発問】(生徒のわかったつもりを揺さぶり、理解を深める発問)

このチラシの中で買わない方がいいものはどれだろうか？

野菜の日の前日に売っているのはあやしい！

クリスマスなのにイチゴがない！

#### 【発展させる発問】(生徒の行動化を促す発問) 具体的な生活場面を考える→行動化

グリーンコンシューマーとして、物を買うときに何に気を付けますか？

#### 単元の評価について

- ①単元で自分が気づいたこと、学んだこと、これからしようと思うことなどの自己評価レポートを課し、評価する。
- ②5週間にわたって、買い物アンケート調査を行い、行動化を思い出させるとともに、行動化の定着を評価する。

(資料)

◇持続可能な開発目標 (SDG s) (出典：外務省仮訳)

- 目標 1 (貧困)：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
- 目標 2 (飢餓)：飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
- 目標 3 (保健)：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
- 目標 4 (教育)：すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
- 目標 5 (ジェンダー)：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
- 目標 6 (水・衛生)：すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
- 目標 7 (エネルギー)：すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
- 目標 8 (経済成長と雇用)：包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する。
- 目標 9 (インフラ、産業化、イノベーション)：強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
- 目標 10 (不平等)：各国内及び各国間の不平等を是正する。
- 目標 11 (持続可能な都市)：包括的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
- 目標 12 (持続可能な生産と消費)：持続可能な生産消費形態を確保する。
- 目標 13 (気候変動)：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
- 目標 14 (海洋資源)：持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
- 目標 15 (陸上資源)：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
- 目標 16 (平和)：持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度を構築する。
- 目標 17 (実施手段)：持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

【メモ欄】